

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高千穂町	黒原	平成31年3月28日	令和3年3月29日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	44.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	25.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

黒原地区では50歳～70歳までの農家、兼業農家が多い。その中で離農希望者や後継者不足が喫緊の課題となっている。規模拡大を計画している農家も少ない中、労力の確保、効率化、基盤整備の対策が求められている

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

黒原地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者4経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

- ・集落営農組織、集落営農法人の設立検討  
トラクター・コンバイン等の共同機械導入を取りかかりとし、将来的には農地の担い手となる集落営農法人の設立を検討していく。  
集落営農法人を主体とした農福連携事業により高齢者、障がい者が働ける仕組みをつくる。
- ・農地中間管理事業の活用に向けた検討  
農地中間管理事業に地域全体で取り組み、設立を検討している集落営農法人や認定農業者への農地の集約を行うための下地を作る。  
集落内で入念な話し合いを行うことで多くの農地を集積し、地域集積協力金を原資とした農地保全活動を行う。
- ・ハード整備事業による集落の活性化  
農産物加工・ジビエ加工の6次化産業を行うための調理・加工場を整備する。  
日照時間が不足する問題の解決策としての農地基盤整備、農作業効率向上のための道路整備を検討する。  
空き家整備事業を活用し、地区外からの新規就農者へ住居を斡旋する。

#### (参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

アンケート調査等による 将来の農地貸付け等の意向	貸付け等の区分(m <sup>2</sup> )		
	貸付け	作業委託	売渡
黒原地区	46,400		14,500